

ディー・ピー・エス友の会 会員限定

夏の経営セミナー

健康経営(人性)

五つの課題(予防)

平成29年7月16日(日)

開業・経営リスクマネジメント
株式会社ディー・ピー・エス
代表 齋藤 忠

本資料・内容の無断転載・無断使用・改変はご遠慮下さい。

① 肉体的環境

身体(外)は心(内)の下僕なり
・・・心を養性し調和しないと
心が身体の 欲望の下僕になる



1. 生体エネルギーの変化 (1)

- ① 潜在(妊娠)→誕生→成長→成熟→
停滞→衰滅 と変化 成熟の峠が
★ 厄(役)年辺り

代謝機能の低下

= 肉体機能の低下

= **老化現象** = 生活習慣病等



1. 生体エネルギーの変化 (2)

- ② 二十代三十代の糖質中心の食生活を
加齢に抵抗するために 野菜中心の
食習慣に変える

免疫機能に大きな影響をおよぼすのが

★ 腸内環境



2. 健康のキーワード 常若(維新) (1)

① 一食一食の食習慣が 肉体を創造
改造していく

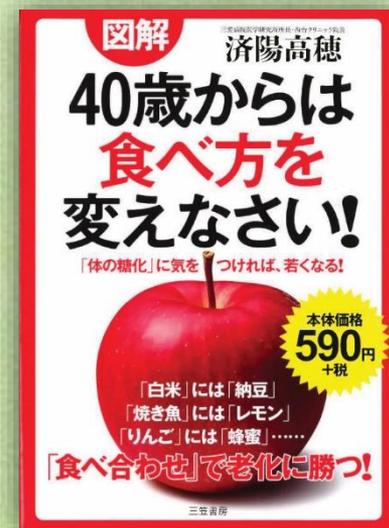
健康に貢献してくれるから敬って

御食事・御飯・御味噌汁・御弁当・

御菓子・御箸という

箸の持ち方でお里が知れる？

飲食にも食徳が表現される



済陽高穂著
『40歳からは食べ方
を変えなさい!』

2. 健康のキーワード 常若(維新)(2)

② 相・・・

内面の状態を表現 あらゆるエネルギーは
内から外に向かうという法則あり

相は木の上に目があった文字

過去も未来も見渡せる 転じて**助ける意**

★ 経営相・家相・面相・福相・貧相・悪相・死相・
体相・手相・色相・相性・真相・印相
宰相・首相・・・世相 ※補相

② 精神的環境



1. ストレスと精神

ストレスに見舞われると 精神(心)が疲弊し
酸化してくる・・・酸は**傷む**意

酸化し**過ぎる**と 心酸となって怒りの要因となり

★ 辛酸となって 酸敗は**鬱**の要因となる

※ガンはストレスが要因？ 乳ガンの要因？



2. 世の中は陰陽相対(待)性原理(1)

① 陰陽二氣

万物を創造し育成する偉大な力を
氣といい 氣に陰陽二氣あり

活力や育成する創造・造化の力を
元氣(陽氣)といい あらゆる創造活動は

★ 元(二+ル?)氣が根源となる



2. 世の中は陰陽相対(待)性原理(2)

② 陽エネルギー・・・

活動・発展の役割を担う

才能・知性・意志・

★ 欲望・ロマン・志等



人間は欲望(善欲悪欲)を貪って生きていく



2. 世の中は陰陽相対(待)性原理⁽³⁾

③ 陰エネルギー・・・

陽の発展エネルギーを相調和する役割を担い
陰徳は物事を相受け入れ **相結ぶ**働きをする
陰の本質は

★ 儒教的には**仁** 仏教的には慈悲
キリスト教的には愛

★ 女性・奥様・スタッフ・師・軍師・
座右の銘・座右の書等



2. 世の中は陰陽相対(待)性原理⁽⁴⁾

④ 果断果決・・・善果

善果を得ようとするならば 勇敢に過剰な陰陽
を間引き・剪定しなければならない
才能が豊かであればあるほど 社会的に
有意義な存在として認められるためには
優徳(陰徳)を養わなければならない



2. 世の中は陰陽相対(待)性原理(5)

⑤ 中庸・中道・中性・・・

中とは現実の**矛盾**・対立・闘争を処理して
統一(中吉)し 創造発展させていく統一的・
進歩的作用を言い表す

★ 中論を説いたのが
仏教・儒教・神道・古典古書・
中庸・老子・養生訓(貝原益軒)等



3. 道徳の実践論が 易学・易経

名士の末路

名士は

★ 忙し過ぎて 心を亡くす
亡くすと**迷士**に成り下がり
やがて**冥士**に落ちぶれていく

※国税調査が入った有名某歯科医師



4. 人間学 (1)

① 知識の学問

(理解力・記憶力・判断力)は誰でも学べる
これだけでは
健康的な人性は創造できない



4. 人間学 (2)

② 道徳的学問・人格学(人格者＝道徳の優れている人)を総括して **人間学**という
人間学が盛んにならない限り

★ 創造力は養われず

健康的な運命は開拓できない

道徳を根底にした

★ 創造ビジネスは **社会貢献**になる



4. 人間学 (3)

③ 人格者への道は 人格者と交わり
歴史の人物に学ぶのが早道

④ 道徳者なのか不徳者なのかは
日々の習慣や人相面相(雰囲気)が醸し出す



5. 栄・枯・盛・衰の根本原理 (1)

① 内面的に突き詰めると

★ 人間性が健全なのか

墮落しているのかに尽きる

小成功での自惚れは最も禁物

※一億円の宝くじを当たった人の末路？

器以上の動産資産(幸)を相続した人の末路？



5. 栄・枯・盛・衰の根本原理 (2)

② 経営者の**人間性**が健全であれば
発展がもたらされ 腐敗していると
衰退・滅亡に導かれていく

③ 人性の本体

善くも悪くも 無限の創造変化・創造発展を
旨とする 人性(外)を支配するのが**志(内)**
小志が？ 中志が？ 大志が？



6. 実業家・人道主義者・詩人

サムエル・ウルマン(1840～1924年)

青春とは人生の時期を言うのではなく
心(内)の様相を言うのだ！

人は信念と共に若く 疑惑と共に老いる
人は自信と共に若く 恐怖と共に老いる
希望ある限り若く 失望と共に老い朽ちる



③ 社会的環境



1. 民族に理想がある時は 病気や欠陥が露呈してこないが

★ 理想を失うと 社会は墮落し煩雑になってくる

※ 今の日本の現状

この原理原則は 個々の人性にも
当てはまる

※ 理想・志は心の太陽



2. 経営(人性)の本体

継続的发展を旨とし

常に**創造改造**による成長发展が求められる

健康的發展の羅針盤が

経営**理念**(診療理念)



3. 経営の神様・松下幸之助翁に学ぶ(1)

① 出世の鍵

★ 会社を好きになる

目的に向かってコツコツ努力し続ける

指導者の資質は 一にも二にも

★ 人柄 結局これに尽きる

素直な心があれば 他は何もいらぬ

素直な心とは 正しさに寄り添う心



3. 経営の神様・松下幸之助翁に学ぶ(2)

② 成功のキーワード

★ 生業を好きになる

夢・ロマン・志を抱き 目的に向かって

日々コツコツ努力していく

経営者が人性エネルギーの100%を

注ぎ込めば 成功は間違いなし



3. 経営の神様・松下幸之助翁に学ぶ(3)

成功・再生のキーワード・・・

素直な心・感謝の心・謙虚な心

※道は無限にある

素直な心になれば

感謝の心も 謙虚な心にもなれる

★ 常に恐る恐る(不安) 経営に

取り組んできた



江口克彦著
『松下幸之助は
なぜ成功したのか』

3. 経営の神様・松下幸之助翁に学ぶ(4)

智恵・・・知識×熱意＋
★ 経験

- 1). 経営も人性も 生きるか死ぬかの覚悟が
継続的成長発展の基礎となる
- 2). 利益は社会・顧客(患者)からの預かりもので
次の創造発展に役立てる原資



4. 思想家・事業家

二宮尊徳翁(1787～1856年)の経営学

道德無き経済(経営)は犯罪であり

経済無き道德は寝言である

道德と経済(経営)の合一論

※齒徳・・・年長で徳が高い人



5. 経営者に求められる

先見性と創造力

- ① 知恵あるものは知恵を出せ 知恵なき者は汗を出せ
それができない者は去れ×××
先ずは汗を出せ

★ 汗の中から知恵を出せ
それができない者は去れ



汗を流し涙を流し 努力に努力を重ねること
で 経営のコツが分かってくる

6. 経営の真髓

松尾芭蕉の不易流行にあり

不易・・・普遍的に変えてはならない本質的なもの
商いにおいては商道徳

※悪徳商法・悪徳診療の戒め

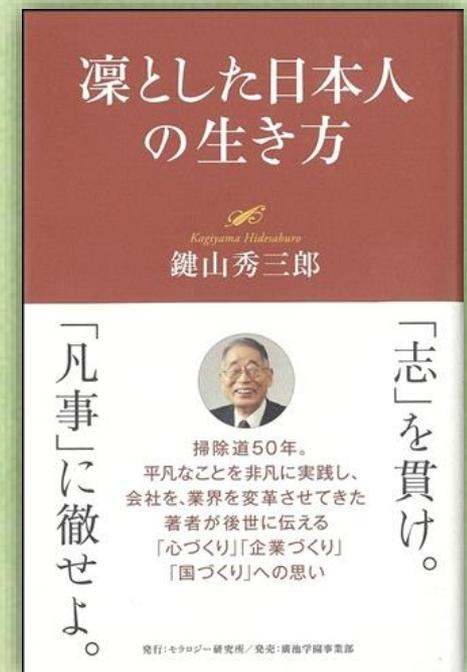
流行・・・時局に応じて変化させていく
但し流行の追いかけ**過ぎ**は要注意



7. 創業者・思想家・哲学者

鍵山秀三郎先生の経営観・人性観⁽¹⁾

- ① 経営者に心配や不安は
つきもので 心配は成長の糧
となる 私は**心配の背広**を着
ているようなもので 年から年中
★心配ばかりしていた
不安や心配事の嫌な人は
経営者になってはいけない



鍵山秀三郎著
『凛とした日本人の生き方』

7. 創業者・思想家・哲学者

鍵山秀三郎先生の経営観・人性観(2)

② 多くの人が願望・夢・志を抱くが
実践する人は一握り

★ 継続する人は稀

高い目標を目指して 前に進めば進むほど
道は険しさを増してくる・・・志操が必要

問題があるのが人性で

★ 逆境は成長発展させるキッカケになり
ライバルも 己を進化させるキッカケになる

7. 創業者・思想家・哲学者

鍵山秀三郎先生の経営観・人性観(3)

③ 善き習慣は

★日々の小さな実践でしか身に付かない

忍耐(優徳)を以て コツコツ実践を積み重ねると 習慣が変わり

★人間の質も変わってくる



④ 靈的環境



1. 人間・人性・経営哲学

人間を如何に化かすのか
人性を如何に化かすのか
経営を如何に化かすのか

を考えるのが**哲学**

本物と交わらなければ
本物に化けられない



2. 野村元監督 空・雨・傘の実践者

一流と二流の違い

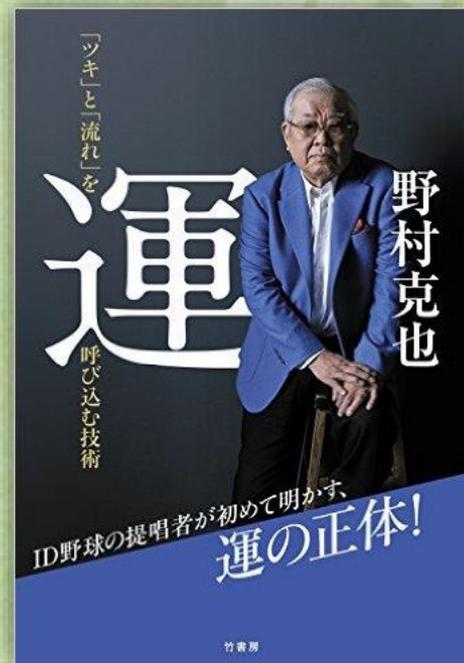
★ 人間性・人間力にあり
天職と思えるのか否かが
分水嶺となる

二流にスランプはない

安易に手を差しのべると伸びてこない

メジャーリーグの格言・・・**教えないコーチが名コーチ**
・・・見様見真似で見習う・技を盗む

野村克也著
『運～ツキと流れ
を呼び込む技術』



⑤ 家庭環境



1. 人間の要素

大別すると

性格・能力・行儀・躰・習慣となる

4～5歳頃から

道徳的感情が発達してくるが

嘘の効用も覚えてくる



2. 三つ子の魂百まで生きる

生後3年にして 脳髄は大人の8割まで発達し
3歳までに人格・性格のあらかたが決まる
5～6歳頃から 知能の基本的なものが発達し
適切な

★ 開発・啓発を待っている

※ 齋藤の持論 開業は家庭(環境)が始発駅

3. 幼児期

あらかたの人格が形成される年齢だが
両親の精神状態（**意欲・感情**）に敏感に
反応し **怒り**は幼子心に大きな刻印を
記して衝撃を与え 後年の病（不祥事）の
要因になる



4. 賢夫人・賢母・賢妻・

才知人・愚妻 (1)

★ 天は二物を与えず？何故美人は薄命？

賢夫人・・・

賢すぎて身の回りが持て余す

賢妻賢母・・・

情けに欠ける場合(薄情)が多く

★ 夫や子供が背く場合が多い



4. 賢夫人・賢母・賢妻・

才知人・愚妻 (2)

才知人・・・

とかく利己的で他人との調和を破る傾向があり 才を統治するのは徳

愚妻・・・

馬鹿なふりして物事を包容していく

★母心・慈悲心 = 忘己利他心

馬鹿殿・・・

馬鹿な振りして藩を治めていく褒め言葉
そうせい候？

4. 賢夫人・賢母・賢妻・

才知人・愚妻 (3)

忠如・・・

如何なるものも捨てずに包容していく

陰徳優徳の母心

真の優しさとは 見返りを求めない愛

本当に優しい母親は 子供を許して**包容**する

★ 理性で物事を判断すると 裁いて**批判**の
対象とする ※男女囚人の後悔



5. 人性(運命)とは

① 自分と向き合うことは
とても**孤独**な作業だが
自分の人性は 誰も助けてくれず
自分で創るしかない



② ★自分で自分を化かすしか
運命は切り開けない

人性は善くも悪くも 化学の世界





ディー・ピー・エス友の会

夏の経営セミナー

ご静聴有り難うございました。



開業・経営リスクマネジメント
株式会社ディー・ピー・エス
代表 齋藤 忠